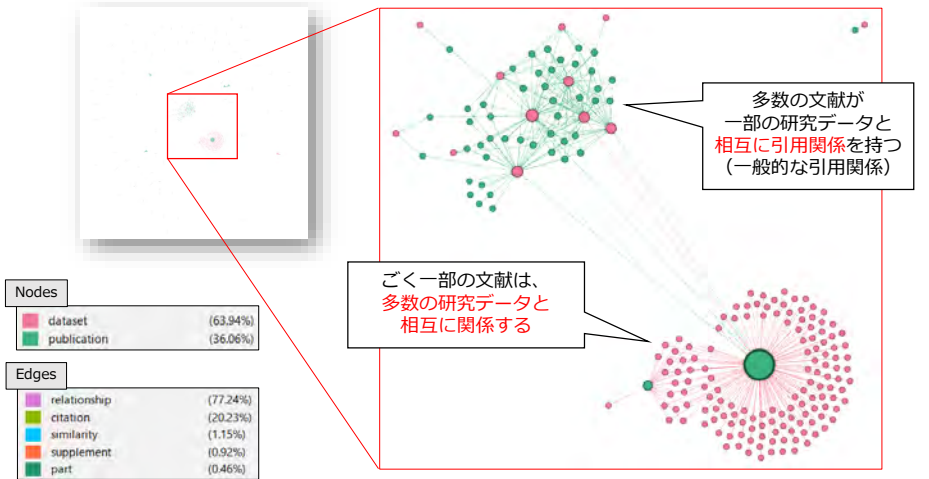


## OpenAir解析1

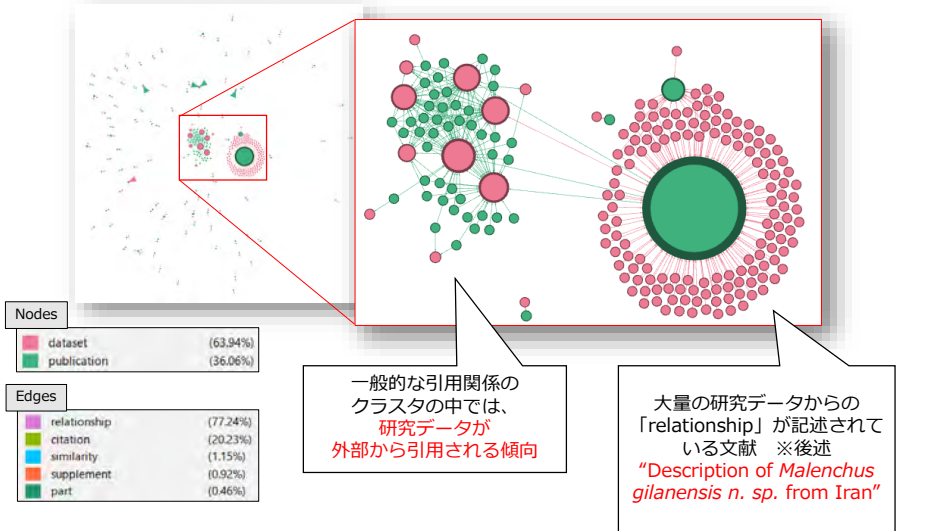
文献や研究データの相互関係を元に見可視化



46

## OpenAir2

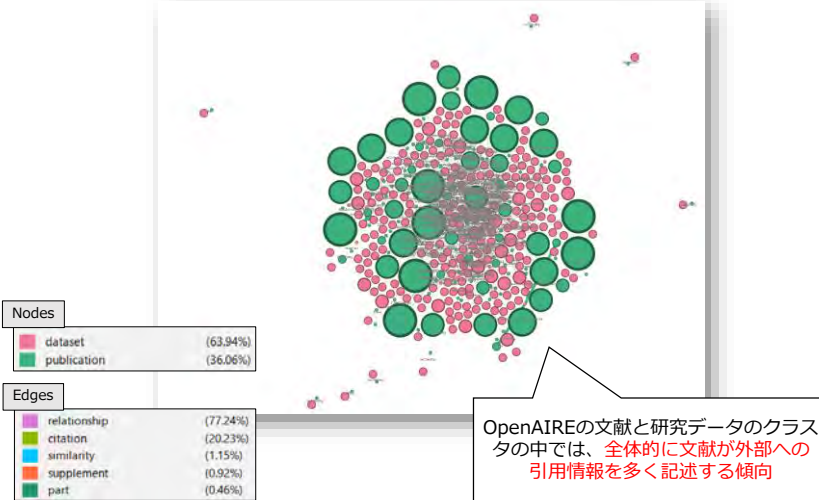
文献や研究データの外部から繋がる関係に重みづけを付加し可視化



47

## OpenAir解析3

文献や研究データの外部に繋がる関係に重みづけを付加し可視化



48

# 分野毎の生態系を見定める

(2) 大学・国立研究開発法人等において必要となる研究データ管理・利活用のための課題の整理と具体的方策（管理・活用体制の整備方策、人材確保・育成方策など）

- 【提案1】 研究者が容易に利用可能な研究データプラットフォームの構築
- 【提案2】 データプロフェッショナルの育成と多面的な研究評価の実現
- 【提案3】 モニタリング機構に基づくデータ駆動型研究の不断の改善

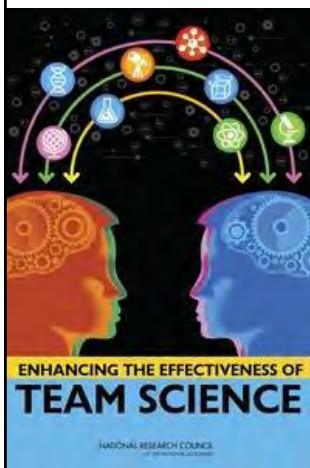
データの置き場所に加えて、  
データの助っ人が必須

Eg. 電子カルテ

### 【提案2】データプロフェッショナルの育成と多面的な研究評価の実現

データ駆動型科学があらゆる分野において推進されるためには、データを的確に扱うための人材や関連のスキルが、研究の現場に浸透することが要となる。データを扱う多様なスキルを有するデータプロフェッショナルを機関戦略として配備する海外事例も見られるが、プールされたデータプロフェッショナルが全国の大学に協力できる仕組みも構築されることが望ましい。その際、複数の機関やメンバーからなるチームサイエンス<sup>1</sup>が可能となるように、大学等には研究データガバナンスが確立している必要がある。また、「研究評価のためのバリ宣言<sup>2</sup>」を端緒に、論文業績以外の多様な研究貢献を評価し、チームサイエンスを実現することで、オープンサイエンスや産学官の協働を通じたイノベーションの創出、市民参加も含めた社会的課題解決につなげようという動きも見られる。我が国においても同様の取組を通じて、学術の新たな展開につなげることが望まれる。

## Team Science / Data Professionals



National Academy

- データプロフェッショナルへの新しい評価機構の導入を
- チームサイエンス

